

漢方薬との出会い

私（院長）が診療の中に本格的に漢方薬を取り入れたきっかけは自分の体験からです。

ある日、腸炎による強い腹痛が襲った時、ちょうど手元にあった「五苓散」という漢方を飲んだらとても楽になりました。また、もともと腸閉塞を起こしやすいのですが（乳児期に開腹手術を受けているため腸管の癒着があります）、「大建中湯」を服用し始めてから症状はとても楽になりました。

それまで、漢方は胡散臭いものと思っていましたが、いやそうではないぞ。むしろ西洋薬で対応できないところを埋めてくれるぞ。そう実感し、それから漢方薬の勉強を始めました。

まだ初学者であり、勉強中の身ですが、漢方薬に関心がある、試しに使ってみたいという方はどうぞ診察にお越しください。一緒にご自身に合う漢方薬を探していきましょう。



●外来日

月	火	水	木	金	土
-	-	●	-	-	-

●診療時間 午前 9:00 ~ 12:00

●予約

おとな漢方外来は完全予約制で実施いたしますので、必ず事前にご予約ください。

インターネット上でご予約できます。

<http://www.0255447777.com/i/>

また、直接医院に電話をいただいても結構です。



塚田こども医院

新潟県上越市栄町2-2-25

〒942-0072

TEL 025-544-7777 (代)

FAX 025-544-8456

ホームページ

<https://www.kodomo-iin.com>



おとな 漢方外来 ごあんない

当院では子どもたちの診療を行う中で、漢方薬も積極的に使うようになりました。漢方薬が万能ではありませんが、西洋薬とは違う働きが色々あります。さらに、西洋薬での治療に限界がある時は、そこに漢方薬を加えることで、より幅広く、いろんな病気に対処できます。

このところ大人の方への漢方薬治療も増えて来ました。大人専門の漢方外来を設けていますので、どうぞご利用ください。



塚田こども医院

世界の
子どもに
ワクチンを

日本委員会

おとな漢方外来

大人の方が漢方治療をより受けやすくなるよう、「おとな漢方外来」を開設しました。

- ・毎週水曜日、午前9時～12時
- ・予約制
- ・対象：おとなの方（高齢者を含む）
- ・担当医師：院長
- ・第3診察室（隔離棟）

専用の時間帯を作りましたが、通常の診療の中でも対応していますので、ご都合のつかない方は今まで通りでかまいません（院長の外来をご指定ください）。

また、すでに受けている西洋薬による治療はそのままでけっこうです。漢方薬が処方されている場合は、調整する必要がありますので、診察の際にお申し出ください。

なお、小児の漢方治療はひきつづき通常の診療の中で行っていきます。

受診についてのご質問、ご希望などがありましたら、受付にお話してください。

【参考】

漢方薬には西洋薬にはない特徴があります。両者はお互いを補いあうもの。いわば「いいとこ取り」することで、より効果があります。私が使っている漢方薬治療の一部をご紹介します。

○急な症状を抑える漢方薬

風邪の治療をする時、西洋薬は対症療法になりますが、漢方には寒気やだるさといった初期症状を和らげる薬が何種類もあります。体格や時間の経過にあわせて漢方薬を選んでいきます。漢方薬は長く飲んで、ゆっくり効いてくるものと思われがちですが、急いで症状を抑えるために使うものも多数あります。

風邪以外にも、様々な痛み止めになる漢方薬があります。こむら返りに使う薬（「芍薬甘草湯」）は、西洋薬には同様な効果のある薬はありません。「葛根湯」という風邪薬がありますが、これも肩こりにとても効果があります。

頭痛、胃痛、関節痛、腰痛、筋肉痛、生理痛、抜歯後の痛み、打撲の痛みなどにも、それぞれに速効性のある漢方薬があります。

花粉症に使う西洋薬は眠気が問題になりがちですが、漢方薬はむしろ目を覚ます方に働き、さらに速効性で高い効果があります。

胃腸炎、熱中症なども、重症でなければ漢方薬の方がパワフルに効果を発揮するでしょう。

○体質を変える漢方薬

便秘がち、下痢をしやすいといったお腹の悩みへの対処は漢方薬が得意です。冷え性、体力低下、食欲低下、眠れない、立ちくらみ、めまいなど、西洋薬では十分な効果が得られにくい状態にも効果が期待できる漢方薬があります。

○心のトラブルに効果のある漢方薬

元気がでない、落ち込んでいるといった状態から、逆にイライラしている、神経質になっているといった状態に効果のある漢方薬があります。西洋薬と違って、眠気がでず、効果もしっかりしている印象があります。